
名探偵コナン・沈黙(サイレント)の黒水晶(レクイエム)

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナン・沈黙の黒水晶

サイレント レクイエム

【Nコード】

N5048T

【作者名】

ユーリ

【あらすじ】

江戸川コナンと、明日岡スウ・・・本来出会うハズのなかった2人が出会う時、新たな事件が巻き起こる・・・『名探偵コナン』と『名探偵・スウと篤子の事件簿』、奇跡のコラボレーション小説！

第01話：出会い（前書き）

この小説は、『名探偵コナン』と『名探偵・スウと篤子の事件簿』のコラボレーション小説です。

先に『名探偵・スウと篤子の事件簿』を読むとより楽しめるかと思っています。

第01話：出会い

オレの名前は江戸川コナン。

今は子供の姿をしているが、その正体は高校生探偵・工藤新一だ。

オレには、大切な仲間達がいる。

少年探偵団。

吉田歩美、円谷光彦、小嶋元太が結成時のメンバーだ。

後から仲間になったのが、東尾マリア・坂本たくま・剣野刃・金田一ユリ・如月風月・常盤暁・片桐真希。

そして、灰原哀。

彼女は黒の組織の科学者だったけど、組織を裏切ってオレと出会った。

今は大事な恋人だ。

オレは彼らと共に、事件を解決しながら小学校に通っている。

だがオレは知らなかった。

新たな探偵との出会いが、待っている事を・・・

帝丹小学校

ユリ

「おはよー!」

ユリは元太と一緒に登校して来た。

元太

「ん?みんな、何をそんなに見入ってた?」

元太の言う通り、歩美達は1枚の新聞に見入っていた。

歩美

「あ!元太君、ユリちゃん!」

光彦

「2人共、これ見て下さい。」

元太とユリが新聞を見ると、そこには7人の男女が写っていた。

元太

「何々・・・『柏少年探偵団、またも難事件解決!!』・・・何だ?この柏少年探偵団って・・・」

刃

「アタシ知ってるで。柏大学付属高等学校に通ってる7人組で、数多くの難事件解決してるいう・・・なあ、マリアちゃん。」

マリア

「ああ、ウチら転校する前は大阪におったからな。彼らの学校あんの、隣の兵庫県やし。」

たくま

「フーン・・・まあ兵庫県に住んでるヤツらなら、オレ達と会う事なんてないだろ。」

暁

「まあそうだろうな。」

その放課後・・・

真希

「コナン君と哀ちゃん、今日はお休みだったね。」

歩美

「明日から夏休みだし、みんなでお見舞いに行きましょう！」

刃

「そやね。」

マリア

「ん？あのコンビニの前に何や人ばかりができてんな。」

光彦

「そういえば、昨日このコンビニで強盗事件があったんですよ。幸い強盗は、たまたま居合わせていた男女が捕まえたって・・・」

風月

「じゃあ、今報道陣に囲まれてるあの2人がそうなのかしら？」

「今日のニュースは、このコンビニで起きた強盗事件についてです。こちらが強盗事件を解決した、柏少年探偵団のお2人です！！」

しばらく取材が続き、報道陣は帰って行った。

元太は早速、2人に近づき話しかける。

元太

「よっ！兄ちゃん達も探偵団なんだってな。」

「ん？誰だオマエ達。」

元太

「オレ達は、帝丹小学校の少年探偵団さ！！」

明日岡スウ
あすおか

「なるほど、オマエ達が例の探偵団か・・・オレは明日岡スウ。柏大学附属高等学校に通っている。こっちがオレの相棒で幼なじみの、浜谷篤子だ。」

浜谷篤子
はまや あつこ

「よろしくね。」

光彦

「ボク達も、たくさん事件を解決してきてるんです。」

元太

「お互いに情報交換しねえか？」

スウ

「オマエ達、まだ小学校１年生だろ？悪い事は言わん、あまり面白半分は事件に首を突っ込むな。」

歩美

「え？」

スウ

「子供の頃からあまりそういう事をしてると、直に痛い目を見る事になる・・・行くぞ、篤子。」

篤子

「あ、待ってよスウ・・・みんな、ゴメンね・・・」

スウと篤子は、元太達の前から去って行った。

第02話：探偵団大会

翌日 工藤邸

コナン

「おはよー。」

哀

「新一君、おはよう。」

浅井成美

「2人共、寝てなくちゃダメじゃないですか。昨日は39 もあつたんですよ?」

コナン

「大丈夫だよ、今日測ったらもう36・5 だったし・・・」

哀

「それに、そろそろあの子達来るでしょうから・・・」

ピンポーン。

成美

「はあい。」

ガチャ!

歩美

「コナン君、哀ちゃん。」

光彦

「お見舞いに来ましたよ。」

ユリ

「色々果物買って来たから、良かったら食べてよ。」

コナン

「ありがとう。」

元太

「そうそう、実は2人に話したい事があってさ。」

哀

「話したい事？」

歩美達は、昨日出会った男女についてコナンと哀に話した。

コナン

「ヘエ、柏少年探偵団の明日岡スウと浜谷篤子……」

哀

「最近よく聞く名前ね、その2人。」

刃

「その2人に結構キツイ事言われたんよ、みんな。」

コナン

「フーン……」

哀

「そういえばコナン君、今度大会に出るって言ってたわよね？」

たくま

「ん？何の大会だ？」

コナン

「1週間後に、日本一の探偵団を決める大会があつてな。資格は小学生～高校生までで、5人と保護者1人合わせて計6人で1チームで参加できるんだよ。地方ごとに予選大会があつて、それを勝ち抜いた探偵団が地方代表として本戦に出られるんだ。」

暁

「面白そうですね。」

哀

「私とコナン君は確定で、保護者役に成美先生を選んだんだけど・・・後3人が決まってるの。あなた達、今からジャンケンして3人選んでくれない？」

マリア

「了解や。」

その後歩美達は何人かに分かれて、ジャンケンを行った。

その結果・・・

刃

「3人目はアタシ！」

コリ

「4人目は私ね。」

マリア

「ほんで、最後がウチや！」

歩美

「何か、スゴいチームになったね。」

風月

「このチームなら、どんな相手が来ても負ける気がしないわね。」

真希

「出られない私達の分まで、頑張つてね。」

コナン

「ああ！」

コナン達5人は東京代表として、関東地区大会に出場した。

コナン達にとって他県の代表等敵ではなく、コナン達はアッサリ優勝。

関東地区代表として、本戦に出場する事になった。

第02話：探偵団大会（後書き）

登場人物紹介1

江戸川コナン：『名探偵コナン』の主人公。正体は工藤新一で、薬で幼児化した。帝丹小学校に通っており、少年探偵団の実質的なリーダー。

灰原哀：少年探偵団の1人でヒロイン。正体は元黒の組織の科学者・宮野志保。姉を殺された事で組織を裏切り、幼児化して帝丹小学校にやって来た。コナンの恋人。

剣野刃：少年探偵団の1人で、ポニーテールの少女。正体はリアン・ハートネスであり、FBIの捜査官。平次の幼なじみでもある。瞳の色は紫。

金田一ユリ：少年探偵団の1人で、金髪ポニーテールの少女。正体は元黒の組織の一員で、本名はリリス・ヴィンヤード。刃とは親友同士。メガネをかけている。

東尾マリア：少年探偵団の1人、メガネをかけたツインテールの少女。実は黒の組織の一員・テキーラの愛娘。正義感が強く、曲がった事が大嫌い。妖木刀・村正の使い手。

浅井成美：かつて月影島の事件でコナンが自殺させてしまった、男性医師。実際はそのすぐあとに赤の組織に拉致され、手術によって真正正銘の女性となる。江古田小学校で保険医をしている。

服部平次：大阪出身の高校生探偵。コナンの秘密を知る友人であり、ライバル。探偵団大会には大阪代表として参加したが、決勝戦で兵庫代表に負けた。

遠山和葉：大阪出身で、ポニーテールの少女。平次の幼なじみであり、恋人。

白野美保：京都出身の少女であり、女子高生探偵。フランス人と日本人のハーフで、髪や瞳が青い。京都代表として探偵団大会に参加するが準決勝で敗退する。

瀬藤銀一。美保の幼なじみであり、恋人でもある少年。彼もまたフランス人と日本人のハーフ。

瀬藤金美：美保の同級生の1人。銀一の双子の姉。

月島弓雁：美保の同級生の1人で、メガネをかけた少女。大阪出身。

桜野松葉：京都出身の少女で、『桜野亭』の女将をしている少女。

弓雁とは親友。

白野琴葉：京都府警の本部長であり、美保の母親。

諸星秀樹：映画『ベイカー街の亡霊』に登場した少年。長野代表。

菊川清一郎：映画『ベイカー街の亡霊』に登場した少年。

江守晃：映画『ベイカー街の亡霊』に登場した少年。

滝沢進也：映画『ベイカー街の亡霊』に登場した少年。

浜崎雪菜：『ベイカー街の亡霊』に登場した設定になっている少女。シェフの娘。

大和敢助：長野県警の警部。物騒な言葉が好き。

上原由衣：長野県警の刑事。敢助の部下で、彼の恋人でもある。

諸伏高明：所轄新野署の警部であり、敢助の同級生。通称『所轄の孔明刑事』。

明日岡スウ：柏大学付属高等学校に通う少年で、柏少年探偵団のリーダー。兵庫代表。自分にも他人にも厳しい。その正体は・・・！？

浜谷篤子：柏少年探偵団の1人で、スウの幼なじみ。

畑中葉平：柏少年探偵団の1人であり、メモのプロ。

青木雅子：柏少年探偵団の1人で、瞬間記憶能力を持つ少女。

成瀬桜菜：柏少年探偵団の1人。実はスウのライバルでもある女怪盗の正体。

笠美雄也：柏少年探偵団の1人。スウにコナン達の調査を頼まれる。

中嶋茂次：警視庁捜査1課の警部。ある事件をきっかけに、スウの協力者となる。

第03話：本戦会場での再会

コナン達は関東代表として、探偵団大会の本戦に出場する事になった。

そして、本戦の開会式が行われる会場にやって来たのだ。

杯戸シティホテル

コナン

「まさかここで本戦の開会式が行われるとはな。」

哀

「ドキドキするね。」

「よお、工藤！」

コナン

「この声は・・・服部か！」

服部平次

「久しぶりやなあ、工藤！」

哀

「服部君達も大会に参加したの？」

遠山和葉

「うん、大阪代表でな。そやけど決勝戦で、兵庫代表のに負けてしまったんよ・・・」

平次

「準決勝と決勝まで勝ち残った探偵団は、普通の客として招待されてるんや。」

刃

「ほな、あそこにいる彼らが・・・？」

平次

「ああ、柏大学附属高等学校の柏少年探偵団や・・・手強いで、アイツら・・・」

「あ、コナン君ちゃん！」

コナン

「この声は・・・？」

桜野松葉

「ヤホー。」

コナン

「松葉ちゃん！大会に出てたの？」

松葉

「うん、京都代表でな。そやけど準決勝で負けてもうて。しゃあないから、『桜野亭』として会場の料理担当したると思つてな。」

「松葉ちゃん・・・」

哀

「この声、美保ちゃん？」

白野美保

「どうして私がメイド服着なきゃいけないの！？松葉ちゃんは着物なのに！！」

美保はメイド服を着ていた。

平次

「カ、カワイイ・・・」

和葉

「ジロツ・・・」

松葉

「じゃあないやん、チームなんやし。」

月島弓雁

「美っちゃん、似合ってんで。」

美保

「誉められても嬉しくない・・・銀一も同じの着せられてるし・・・」

「

銀一

「うう・・・」

ユリ

「逆に金美さんは楽しそうね。」

刃

「そら、彼女はな・・・」

白野琴葉

「美保、何油売ってんの！サッサと料理運ぶ！」

コナン

「こ、琴葉さん！？」

哀

「琴葉さんまでメイド服着てる・・・」

マリア

「何気に似合ってへんか？」

美保

「そりゃね・・・母さん、家でもメイド服着てるから・・・」

ユリ

「い、家でも・・・？」

「おっ、メガネじゃねえか！」

コナン

「え？この声・・・」

「お久しぶりですね、コナン君！」

コナン達の前に現れたのは、諸星秀樹・菊川清一郎・滝沢進也・江守晃、そして浜崎雪菜だった。

コナン

「諸星君達か！」

諸星秀樹

「よっ、メガネ！」

哀

「あなた達も参加者なの？」

菊川清一郎

「ええ、中部地方代表としてね・・・で、保護者の人が・・・」

大和敢助『長野県警警部』

「オレだ・・・」

刃

「や、大和警部！？」

敢助

「少しの間有給取って、息抜きしようと思ってな。由衣と高明も応援で来てるぜ。」

コナン

「ハ、ハハ・・・」

哀

「一番敵に回したくない人よね・・・」

第04話：お互いの疑惑心

篤子

「スウ！」

スウ

「ん？」

青木雅子

「あの2人ちゃう？こないだの子らの仲間て。」

スウ

「そのようだな。だが妙だ・・・あの4人、やけに大人びてるよう
な・・・よし。」

ピリリ、ピリリ・・・

笠美雄也

「はい、もしもし・・・ああ、明日岡か。」

スウ

「笠美か？実は朝霧と一緒に調べて欲しい事があるんだが・・・」

雄也

「何をだ？」

スウ

「江戸川コナン、灰原哀、剣野刃、金田一ユリの4人についてだ。経歴とか何でも良いから。」

雄也

「わかった。少し時間かかると思っけど、調べてみるよ。あ、そういえば例の件だけど・・・」

スウ

「ああ、『ヤツら』の事が・・・そっちの調査はどうだ？」

雄也

「ボチボチってトコだね。じゃあ、オレと朝霧はもう少し調べてみるよ。明日岡もみんなと大会頑張ってくれよ。」

スウ

「ああ、悪いな笠美・・・」

ピッ。

篤子

「電話、笠美君にしてたの？」

スウ

「ああ、『ヤツら』についての事を調べてもらってる。オマエらも用心してくれ。もしかしたら『ヤツら』は、既にこの会場に紛れ込んでるかもしれないから・・・」

篤子

「うん!!」

葉平・桜菜

「ええ!!」

雅子

「ああ!!」

ギンツ・・・

ゾクウツ!!

コナン

「ハッ!？」

哀

「どうしたの？コナン君・・・」

コナン

「イヤ、今向こうから刺すような視線を感じたんだよ・・・」

刃

「アタシも感じたで・・・」

ユリ

「私も。」

マリア

「ウチもや。」

哀

「え？それって一体どういう・・・」

コナン

「考えられる可能性が1つある・・・もしかしたらアイツらは、ペンデュラムアッドの残党かもしれない・・・」

哀

「ええっ！！でも彼らの顔私知らないよ・・・？」

ユリ

「知らないからといって、残党じゃない可能性はないわ・・・現に私達は、歩美ちゃんの姉が組織の一員だった事もマリアちゃんの父がキーラだった事も、本人達から聞くまで知らなかった・・・つまり、私達の知らない構成員がいても不思議じゃないって事よ・・・」

「

刃

「そやけど仮に彼らがそうやとしたら、何で今頃・・・？」

コナン

「わからねえ・・・とにかく、アイツらからは目を離さねえ方が良いだろう。みんな、油断するなよ・・・」

哀

「うん・・・」

刃・ユリ

「ええ・・・」

マリア

「ああ・・・」

スウ達の正体とは、果たして・・・！？

第05話：予選、そして謎の影

『会場にお集まり頂いた8組の探偵団さん、ようこそいらっしゃいました！！』

コナン

「いよいよか。」

『これから始まるのは予選です。ここで4組になるまで篩にかけさせて頂きます。では最初の問題です！！』
『カリマイナチウス』。この学名で知られるある昆虫は、とある事件で犯人がトリックに使った昆虫なのですが・・・さて、この昆虫の一般に知られた和名は何でしょう？
1：タテハチヨウ 2：アゲハチヨウ 3：コノハチヨウ
ウ。制限時間は1分です！！』

コナン

「これは3番だな。」

哀

「そうなの？」

コナン

「オレは以前、この蝶をトリックで使った事件に遭った事があるんだ。急ぐぞ！！」

『正解は3番です！！』

これにより、6組まで減った。

『それでは第2問です！直接的な血の繋がりがなくても、歩んできた人生が極端に似通っている2人の事を何というか？1：以心伝心
2：精神的双子 3：多重人。制限時間は1分です！』

コナン

「確かこれは・・・2番だ！」

『正解は2番です！これにより、上位4組が出揃いました！！』

コナン

「何とか予選突破だな！」

コリ

「諸星君達のチームも、あのチームも予選突破みたいね。」

マリア

「ああ・・・後1組は全然知らん子らやな・・・」

『それでは今から15分休憩とします。』

コナン

「15分休憩か・・・」

哀

「コナン君、私のだ渴求たよ・・・」

マリア

「ウチもや・・・」

コナン

「じゃあ、自動販売機に飲物でも買いに行くか。」

成美

「私はトイレに行つて来ます。」

コナン達は会場を出て行く。

その彼らを、謎の影が見つめていた。

女子トイレ

成美

「（新一君達、楽しめてるようで良かったです。ああいつの見たる
と微笑ましいですね・・・）」

成美は微笑んでいる。

その彼女の背後に、影が迫っていた。

そして・・・

ガバッ！！

成美

「うぐっ!？」

成美は後ろから何者かに口を塞がれた。

成美

「うっ、うっ!！」

成美は必死にもがくが、やがて目がトロンとなる。

成美

「う・・・」

成美はガクリと気を失ってしまった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5048t/>

名探偵コナン・沈黙(サイレント)の黒水晶(レクイエム)

2011年10月3日04時28分発行